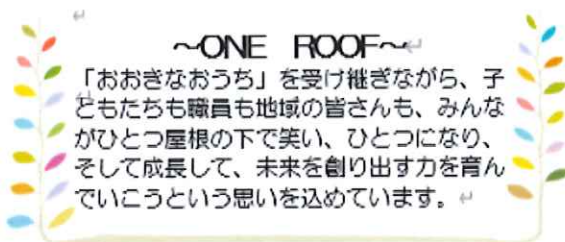


にじだより 令和7年4月



社会福祉法人東京児童協会
亀戸こころ保育園
〒136-0071 江東区亀戸 9-34-1-140
TEL 5836-8011

亀戸こころ保育園分園 にじいろのくに
〒136-0071 江東区亀戸 7-63-3
TEL 5609-7272

園長 久水 実希

🌸ご入園、ご進級おめでとうございます🌸

寒かった今年の冬が和らいだ途端に桜の花が咲きました。

今年も新たに亀戸こころ保育園にたくさんの子どもたち、保護者の皆様が入園してくださりました。私自身も今年度、亀戸こころ保育園に配属となり、亀戸こころ保育園の子どもたちの元気な声や一生懸命な姿に、改めてこの職業の素晴らしさを感じ、これから始まる日々に期待が膨らんでおります。

今まで亀戸こころ保育園の先生方が大切にしてきたこと、皆様が心地よく思ってくださっていたことは変わらず大切にしていきながら、子どもたち、保護者が安心して過ごしていただけるように、子どもたちが過ごすこの場所が発見で溢れる毎日であるように、職員一同努めてまいります。

保護者の皆様からお聞きするお子さまの様子で、声の掛け方や遊びの誘い方の工夫がよりできるようになると思います。

お忙しい中とは思いますが、ぜひ、お子様の様子をお聞かせいただけると嬉しいです。

✿ 日々の様子をお伝えしています ✿

- ・KINDY クラス投稿 ... 毎日の写真・様子を投稿しています (全クラス)
- ・KINDY 連絡帳 ... 毎日のお子さまの様子をお送りしています。(012 歳児クラス)
- ・ドキュメンテーション ... エントランス掲示
- ・にじだより ... 1 か月の目標 クラスの様子をお伝えしています
- ・懇談会 ... クラスの様子をお伝えしています
- ・事業報告... 年度末に一年間の様子をまとめてお渡ししています
- ・保育参加、行事 ... 保護者の皆様にご参加いただく中で、お伝えしています
- ・週案ボード ... 登降園そばのホワイトボードの掲示、KINDY配信で活動をお知らせしています (3.4.5歳児クラス)
- ・登園・降園時...毎日の送迎時にお子さまの様子をお聞きしたり、お伝えしております

お子さまの園での様子・成長がお伝えできればと思っておりますので、ご覧いただきますようお願いいたします！



教育保育理念・方針・目標

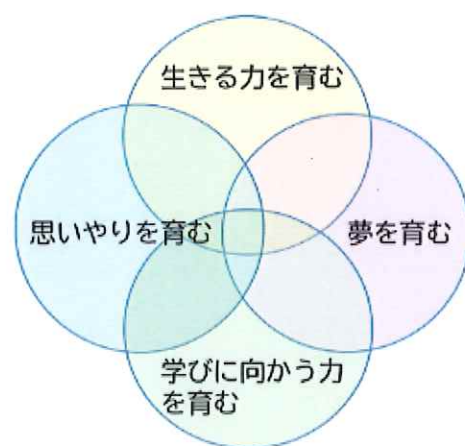
【教育保育理念】

- ◆わたしたちは、「大きなうち」を理念に、子どもも大人もみんなが互いに支えあい育ちあう、家庭的な保育園・こども園をつくります。
- ◆わたしたちの願いは、家庭と保育園・こども園が思いをひとつに一人ひとりの子どもたちの笑顔あふれる毎日を実現することです。
- ◆わたしたちの夢は、歴史の希望である子どもたちが、現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うことです。

【教育保育方針】

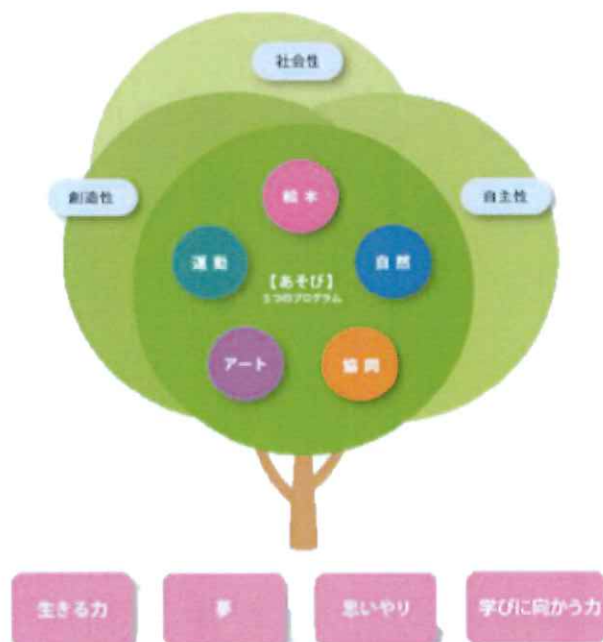
0歳児から5歳児まで異年齢の子どもたちにとって、ゆったり生活できる場であることを常に心がけ教育保育に取り組みます。

そして、各年齢の発達の過程や、一人ひとりの育ちを大切に、生活や遊びを通して「生きる力・思いやり・夢・学びに向かう力」を育み、学びに向かう力が身に付くようにいたします。



【教育保育方針】

- ◇ 自ら考え、判断し、行動しようとする子どもを育てます。
- ◇ 3つのそだち（こころの育ち・食の育ち・意欲の育ち）を大切に保育・教育を行います。
- ◇ 遊びを中心とした5つのプログラム（運動・絵本・自然・協同・アート）を行います。



年間目標



0歳児・あひる組

1. 保育者との十分なスキンシップを通して、心身ともに快適な環境の中で、情緒の安定を図る。
2. 安心できる環境の中で聞く・見る・触るなどの感覚の働きが豊かになるようにする。
3. 保育者に見守られて、はいはい・つかまり立ち・つたい歩き、ひとり立ちの段階を経て歩行を獲得し、しっかりと歩けるようにする。
4. 喃語や片言を優しく受け止めてもらい、発語や保育者とのやりとりを楽しめるようにする。



1歳児・うさぎ組

1. 保育者の話しかけなどを通して、発語が促されることによって言葉を使うことを楽しめるようにする。
2. 一人ひとりの子どもの気持ちを理解し、受容することによって信頼関係を深め安心して過ごせるようにする。
3. 保育者が聞く、見る、触るなどの経験を通して、目・耳・手・指などの感覚の働きを促し気持ちを表現する力を豊かにする。
4. 食事や排泄、衣服の着脱といった基本的な生活行動に興味を持ち、自らやろうとする気持ちをもてるようにする。



2歳児・ひよこ組

1. 自分のことを自らしようとする気持ちを育てる。
2. 様々な遊びを通して子ども同士の関わりをもてるようにする。
3. 保育者の話をよく聞き、物事の良し悪しを覚える。
4. 好きな玩具・遊具、自然に自ら関わり、十分に遊ぶ。



3歳児・はな組

1. 基本的な生活習慣の自立を図る。
2. 物事の良し悪しを理解し、時には我慢することを経験する。
3. 保育者や友だちと関わり、集団としての意識をもつ。
4. 自分のしたいことや困っていることを言葉に表す。
5. 物を大切にするなど、簡単な決まりや約束を守る。



4歳児・ほし組

1. 身の回りのことを自ら取り組めるようにする。
2. 保育者の話を理解して行動する。
3. 人の話を聞いたり、自分の経験したことや思ったことを話したりして、友だちのとのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。
4. 身近な遊具や用具を使い、十分に身体を動かして遊ぶ。



5歳児・つき組

1. 身の回りの始末がしっかりできるようになる。(玩具・洋服・使った道具など)
2. 人の話を注意して聞き、相手にもわかるように話す。
3. 思いやりの気持ちをもって、友だちと仲良く遊ぶ。
4. 様々な運動器具に進んで取り組み、工夫して遊ぶ。
5. 安全や危険の意味や決まりが分かり、危険を避けて行動する。
6. 身近な社会や自然現象への関心を深め、美しさや尊さなどに対する感性を豊かにする。

4月の保育

0歳児・あひる組



<目標>

- ・一人ひとりの生活リズムで保育者や保育室に慣れ、安定した生活を送る。
- ・新しい環境や園での生活リズムに慣れ、機嫌よく過ごす。

<お楽しみ>

- ・春の自然に親しもう！
- ・外気浴を楽しもう！

1歳児・うさぎ組



<目標>

- ・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。
- ・春の自然を感じ、戸外遊びを楽しむ。

<お楽しみ>

- ・春の自然に触れて、戸外遊びを楽しもう！
- ・新しい友だちと仲良く遊ぼう！

2歳児・ひよこ組



<目標>

- ・新しい環境や保育者に慣れ、安心して過ごせるようにする。
- ・保育者に見守られながら好きな遊びを見つけ、じっくりと遊ぶ。

<お楽しみ>

- ・春の自然を探そう！
- ・新しい友だちと仲良く遊ぼう！

3歳児・はな組



<目標>

- ・進級した喜びを感じる。
- ・新しい環境での過ごし方、生活の流れを知る。
- ・春の訪れを感じながら戸外活動を楽しむ。

4歳児・ほし組



<目標>

- ・進級を喜び、意欲的に過ごす。
- ・戸外遊びを通して春の草花に興味を持つ。
- ・他児や保育者と共に集団遊びを楽しむ。

5歳児・つき組



<目標>

- ・進級を喜び、意欲的に生活を送る。
- ・異年齢児との交流を楽しむ中で、年上児としての自覚や思いやりの気持ちを持つ。
- ・春ならではの自然に親しみをもち、戸外で元気に遊ぶ。

<3. 4. 5歳児クラスお楽しみ>

- ・春の自然に触れよう！
- ・季節の製作を楽しもう

保健だより

ご入園、ご進級おめでとうございます。保健だよりでは、保健行事のお知らせやお子さまの健康に関することなどをお知らせしていきます。感染症の流行状況や早急にお伝えしたい情報については、玄関掲示板やKindyにて随時お知らせしていきます。

子どもたちが元気に過ごせるよう、精一杯サポートしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【1年間の保健活動】

年間の保健行事予定です。具体的な日程などにつきましては、都度お知らせいたします。なお、健診と身体測定の結果はKindyにて配信いたします。

保健行事		健康教育	
毎月	・0歳児健診 ・身体測定 (※服を着用したまま計測します)	毎月幼児クラスを対象に、身体の働きや健康の保持・増進についてお話をしています	
5月	全園児内科健診・全園児歯科検診	4月：手洗いのお話	10月：目のお話
6月	【星・月組対象】歯科指導	5月：からだのお話	11月：風邪の予防のお話
11月	全園児内科健診・全園児歯科検診	6月：むし歯のお話	12月：風邪に負けないからだのお話
12月	【星・月組対象】歯科指導	7月：プールのお話	1月：からだのお話
		8月：鼻のお話	2月：耳のお話
		9月：救急のお話	3月：おおきくなったね



【体調不良時の対応】

保育時間内	受け入れ時	ケガの対応
下記のような症状がある場合、様子の報告やお迎え依頼のために連絡をいたします。 ●37.5～38.0℃以上の発熱 ●嘔吐、下痢 ●活動への参加が難しい場合 お迎えの際は、連絡から1時間以内を目安にお迎えをお願いします。 ※緊急連絡先は必ず連絡がつく番号でお願いいたします。	24時間以内に下記のような症状がある場合、受け入れができません。 ●発熱に伴い全身状態が悪い ●解熱後24時間を経過していない(解熱剤を使用せず) ●嘔吐、下痢 ●頭・腹を強くぶつけた場合 ※熱などで早退した場合は、翌日の登園を控えることをお勧めします。	お子さまが保育時間内にケガをした場合、基本的には園内で応急処置をして対応します。 ケガの部位や程度により、医療機関への受診が必要と判断した場合には、保護者の方へ連絡をした上で、医療機関を受診することがあります。

【薬の預かりについて】

保育園では、原則としてお薬の預かりはしていません。やむを得ない理由で、お薬の預かりを希望される場合は、事前に職員へご相談ください。薬の預かりに際しては、医師記入の与薬指示書、及び保護者記入の与薬依頼書が必要です。また、下記の要項を必ずお守りください。

- 医師の処方以外の薬はお預かりできません
- 1回分のみ持参してください
- 薬に名前をフルネームで明記してください
- 登園時に必ず職員に手渡ししてください
(※手渡しではない場合や確認が取れない場合には与薬できません)



乳幼児突然死症候群（SIDS）を予防しましょう

SIDSとは病気も何もない乳幼児が睡眠中に突然亡くなってしまうことを言います。明らかな原因はわかりませんが、次のことでSIDSの発症率を低くすることができると言われています。

- ①1歳になるまでは、寝る時は仰向けに寝かせましょう
- ②たばこをやめましょう
- ③できるだけ母乳で育てましょう

また、赤ちゃんの睡眠中の窒息による死亡事故も起きています。



睡眠時の環境を整え、赤ちゃんの窒息事故を予防しましょう。

- ①ベビーベッドに寝かせ、柵は常に上げておく。頭や身体がはさまれないようにも注意。
- ②赤ちゃんが寝る場所には枕やぬいぐるみをおかない。口や鼻はおおわない。
- ③下に敷くふとん・マットレスは固めのものを使う。掛けふとんの代わりに、服装等で温度調整を。

参考：子ども家庭庁

園の食事について

年間目標『美味しい食事を楽しく食べる子どもを育てる』

乳幼児期から豊かな食の体験を重ねる事は、生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送る基礎となります。当法人では、年間目標を基に季節や旬の食材に合わせ日々食事を提供しています。また、『植える“植”・触る“触”・食べる“食”』の3つの“しょく”を乳幼児期の『しょくいく』として日々の教育、保育に取り組んでいます。

今年度1年を通して『園と家庭をつなぐ食』を大切にしていきます。園の食事内容を理解して頂けるよう、食事の展示・食育コーナー・おたより・Instagram等でもお伝えしていきますのでぜひご覧ください。

年間予定『季節の食材“旬”について』

昨年度は、その時期ならではの旬の食材に触れる機会を設けながら子どもたちに3つの『しょくいく』を伝えてきました。今年度も各季節に旬を迎える食材に触れる『しょくいく』を行い、献立に取り入れることで、旬の美味しい食べ物に親しみを持つだけでなく、旬を通して日本の美しい四季に親しみを持つ事が出来るような献立を1年間提供していきます。

4月の献立について

- 新しい環境に慣れ楽しく食事ができるよう、家庭での食事のように親しみやすい献立を取り入れています。
- 子どもたちが食べやすいように食材や切り方、味付けに配慮しています。
- 香りや味覚を楽しめるように旬の野菜を多く取り入れ、食材に興味を持てるように工夫をし、色彩でも春らしさを感じられる献立にしています。
- 春風ランチ(テラスや外で食事をするなど普段とは違う雰囲気の中での食事をする)を取り入れ、楽しい雰囲気の中で食事出来るようにしていきます。
- 保護者や友だちと一緒に食べる楽しさや喜びを感じながら、家庭的なランチルームで食事をすることが出来るように家庭的なランチルームにしていきます。

園での食事の配慮として次のことに気をつけています

- 旬の食材を豊富に献立に取り入れています。
- 安心、安全な食材を仕入れています。
- だしは市販だしの使用を控えています。かつおや昆布、野菜のくずからだしをとるなど、素材の味を活用する工夫をしています。
- 味付けは薄味で素材の味を活かすように心がけています。乳児は酸味のあるサラダや汁物などは食べやすいように配慮し、提供しています。
- 個々の喫食量を把握し、成長に見合った盛りつけをしています。
- 美味しく食べてもらうために、その日の天候や活動状況に見合った温度や調味、見た目にも楽しみとなる彩り、食べやすい切り方や食具・食器の使用にも配慮しています。

園で提供しない食材、配慮をしている食材について

園全体で提供しない食材

食材	理由
煎り大豆、うずらの卵、飴、球形チーズ、さくらんぼ、巨砲、マスカット	球形という形状が危険な食材のため
ミニトマト	球形という形状が危険な食材のため、大玉トマトに代替する
餅、白玉団子	つるつるしており、噛む前に誤嚥してしまう危険が高いため
いか	小さく切ることで、加熱すると固くなりかみ切れず、気道に入る危険がある食材のため
カニ、種実類(アーモンド、ピーナッツ)、マンゴー、キウイ、そば	乳幼児は食物アレルギーを引き起こしやすい食材とされているため

園の離乳食で提供しない食材

食材	理由
えび、パイナップル	乳幼児は食物アレルギーを引き起こしやすい食材とされているため
こんにゃく、白滝、練り製品(かまぼこ、竹輪)、もち米	誤嚥を防ぐため
チョコレート、生クリーム、プリン、カスタードクリーム	乳児期に合った味(甘味)ではないため
ココア、紅茶、ミルクティー、緑茶、ほうじ茶	カフェインが入っているため
はちみつ、黒糖	ボツリヌス菌が含まれており、乳児ボツリヌス症が発症する恐れがあるため2)
フランスパン、ベーグル	固く、食べづらいため。食パンやロールパンに代替する
胚芽米、雑穀米、押し麦	消化に負担がかかるため
柿、メロン	咀嚼により細かくなったとしても食塊の固さ、切り方によってはつまりやすいため、園では、他の果物に代替
グレープフルーツ	酸味が強く、離乳食には不向きなため他の果物に代替
小魚	乳児期に合った固さでないため

離乳食の提供に配慮が必要な食材

食材	理由
ゴーヤ、大葉、春菊、三つ葉、茗荷	風味が強いため、量を減らして提供
にんにく、生姜	臭み取りで使用。刻みやすりおろしで使用の際は量を減らし、調理する
しらす、じゃこ	海老の混入がないか確認が必要
海苔	噛み切ることが難しいため、刻みのりに代用する
ジョア、ジュース類	甘味が強いものは、他のものに代用もしくは薄めて提供
りんご、梨	加熱して提供する
豆類(蒸し大豆・ミックスビーンズなど)	薄皮を剥く、潰したり、カットしたりして提供
漬物類(たくあん、梅干しなど)	塩味が強い為、量を減らして使用する。また、使用する際は細かく切るといった切り方にも配慮する (原材料に「園の離乳食で提供しない食材」が含まれている場合は、除去する)
枝豆	ペースト状にして提供

- 1) 「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」より
- 2) 乳児ボツリヌス症:便秘・元気がない・おっぱいを飲まない泣き声が小さくなる・脛が垂れ下がる・首がすわらなくなる

家庭でできる食育「春キャベツをちぎってみよう」

春キャベツとは秋から冬にかけて種をまき、早春から初夏にかけて収穫されるキャベツのことです。葉の巻がゆるく柔らかいので生食に適していますが、火を通すとふっくらとした食感が楽しめるのも特徴です。

ご家庭でも春キャベツに触れたりちぎったり、いつものキャベツとの違いについて話してみてもいいかがでしょうか。